

～消防本部からのお知らせ～

## 住宅防火 いのちを守る10のポイント

令和5年1月22日、神戸市の共同住宅で死傷者8名を出す火災が発生しました。住宅火災の出火原因は、たばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を日頃から心がけ、火災の予防及び火災時の対応を万全にしましょう。

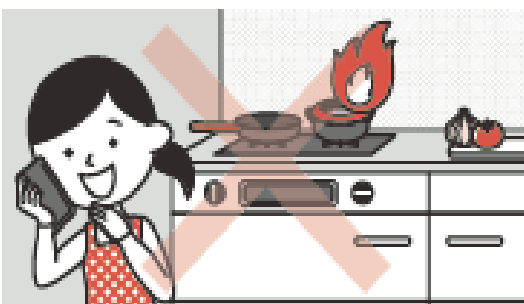
### 4つの習慣



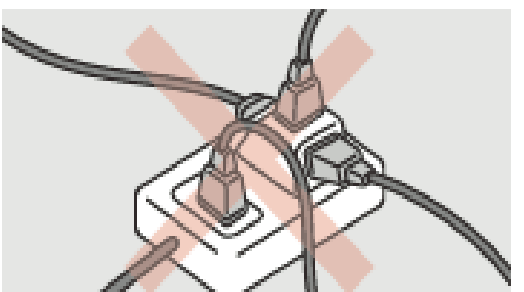
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

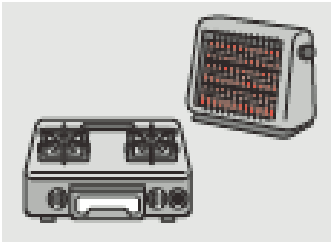


③こんろを使うときは火のそばを離れない

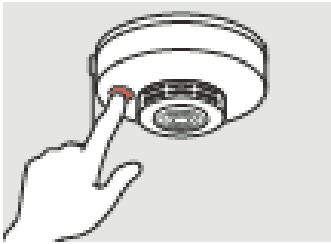


④コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

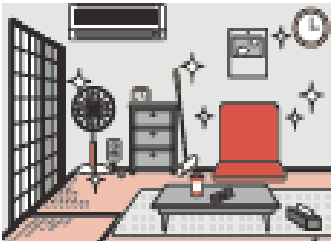
## 6つの対策



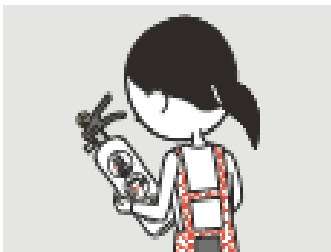
①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



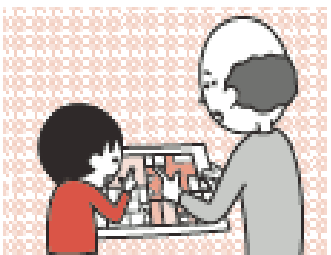
②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



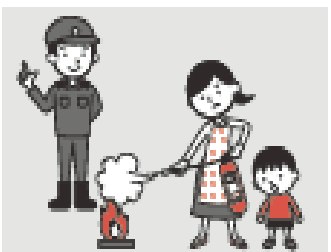
③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う